



弊社お客様向けに自社で作られた資料でございます。
本マニュアルの文章・画像等の内容 の無断転載、
複製及び模倣等の行為はご遠慮ください。
弊社の書面による事前の承諾なく複製、
転載等の使用をすること、商業目的での利用を禁止します。
上記の行為がなされた場合は、著作権法により、
著作権の侵害となります。

浴室機器 商品受取後の御確認・組立工具のご案内

商品ご確認について

商品到着から3日以内に商品ご確認ください。

- 運送会社の規定により、商品が到着後は必ず商品の梱包状態、商品本体状態、部品の不足がないか等をご確認いただき、万が一商品に不良・部品の不足などがあった場合は商品到着から3日以内にご連絡ください。

部品の不足がないか等をご確認いただき、万が一商品に不良・部品の不足などがあった場合は弊社ではそのような商品または部品はすぐに良品と交換させて頂いております。
ですが、3日を経過した商品や、“1度でも使用した商品”に関しては交換の対象にはなりません。
予めご了承下さい。

- 不良をご確認いただきました際、商品及び部品のお写真をお撮りいただき、

メールまでお送りください。

メール送信先は、ご購入時にご連絡させて頂きました各サイトのmailアドレス

又は、弊社 お客様総合窓口 salemarket.service@gmail.com からも承ります。

- 詳しくは、ご購入サイト商品ページの ◆保証について◆ 掲載内容のご参照願います。

※ 部品交換等が発生した場合におきましてのお客様側の人工費、工事遅延等の費用は補償対象外とさせて頂きます。ご理解、ご了承頂きます。

組立に必要な工具・資材

組立前に事前ご確認、ご用意ください。

1) 水平器



2) 49mmナットの締付可能スパナ工具（排水栓取付に使用）

(パイプレンチ可)

3) プラスドライバー # + 2

4) マイナスドライバー

5) モンキースパナ 2個

6) 六角レンチ # 2.5

7) 電動ドリル及び $\phi 2.5\text{mm} \cdot \phi 3\text{mm}$ ドリル刃とも

シールテープ

メジャー・指金 30cm 以上 (物差など)

カッターナイフ

ヤスリ (樹脂バリ取りできる物)

コーリング・コーリングガン

シャワーブース9080-S

(照明・FAN無し仕様)



(本紙では、9080-S写真となっております。9081-Sと組立手順の互換資料としてご活用ください。)

☆ご購入頂きありがとうございます。組立前にご参照ください。

※商品が届きましたら必ず開梱して各筐体、ガラス等状態確認してください。【梱包ダンボール4箱】

商品筐体・ガラスなど割物ですので万一破損がございましたら以下の御対応願います。

①商品ダンボール貼付の運送業者に破損の報告、送り状番号など、お伝えください。

②弊社、ご購入時の連絡e-mailに破損した商品写真を撮影添付して破損のご連絡をください。

1-1) 梱包品の確認

Front 段ボール

【梱包パーツ頭文字 : F】



※開梱時には、ダンボールからガラス板、ローラー等小物パーツが入っていますので、お気をつけください。

ローラー等小物パーツ…1式
(2ページの小袋 内訳参照)

F2



・F2 : アルミ支柱…長2本

F2



F5

F3 F4

・F3 : ドア防水シール…2本
(ひれ無し)・F4 : ドア防水シール…2本
(ひれ付き)

・F5 : ガラスマグネットガイド…2本

(F2 : アルミ支柱の中に樹脂製部品が入っています。)

F7 : 固定ガラス 2枚

・F7 : 固定ガラス…2枚

(用途: フロント左右固定ガラス)

F8 : 扇用ガラス 2枚

・F8 : 扇用ガラス…2枚

(用途: 扇ローラー取付穴 & 取手取付け穴有)

(用途: フロント開閉用 扇ガラス)

Front段ボール内の各小袋パーツの内訳

F12 ・F12 : ガラスホルダー…4個



【CODE: 65002720】

F13

・F13 : タッピングナベネジ…4個+予備
(L = 11mm)

(用途: フロントガラスホルダー取付ネジ)

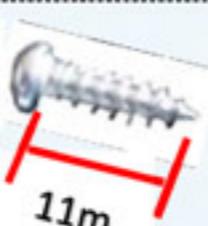
F15

・F15 : ドアストッパー…8個
(半透明色樹脂製)

【CODE: 65002710】

同封の取付ネジは、ユニット製造時期により長さ・ネジ頭形状が写真と異なる場合がございます。

F13

・F13 : タッピングナベネジ…5個
(L = 8 ~ 11mm 予備込)

(用途: ドアストッパー取付ネジ)

【CODE: 65002851】

取付ネジは、ユニット製造時期により長さ・ネジ頭形状が写真と異なる場合がございます。

Front 段ポール内の 各小袋パーツ の内訳(続き)

F11



・F11：ローラーAssy… 8個
(白色樹脂製・シングルローラー)

【CODE: 65002705】

F14



・F14：タッピングなべネジ… 8個 + 予備
(L=15mm) (用途: F2:アルミ支柱
T15上下扉レール組立ネジ)

【CODE: 65002854】

取付ネジは、ユニット製造時期により長さ・ネジ頭形状が写真と異なる場合がございます。

TRAY 段ポール

【梱包パツ頭文字 : T】



T15：扉レール 2本



T2 : 天井板 … 1

T1 : TRAY … 1

9080-S TRAY

TRAY同梱パツ

T15：扉レール… 2

注意: 9080-Sでは扉レール 2本は、エプロン裏側とアルミ骨組みの空きスペースに収納されていますので引き出してください。

TRAY 及び 天井 白色表面部に 保護フィルムが貼られています。

工場製造工程におけるマジック位置決め下書き、樹脂等が保護フィルムに付着している場合も

ございますが、組立前にすべて表面保護フィルムを剥がしてください。

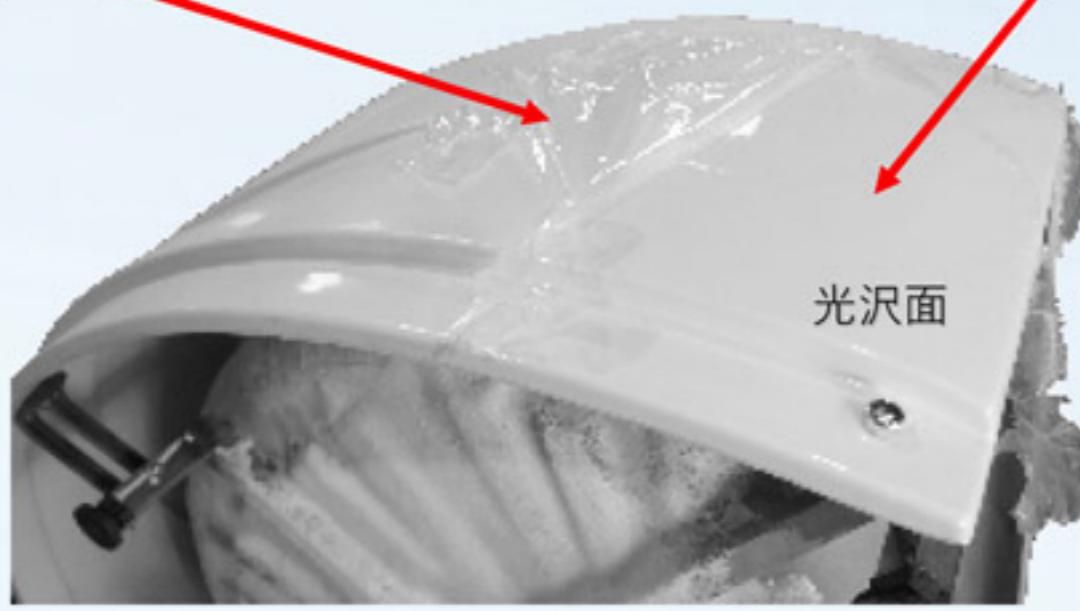
本来の光沢面が出てきます。

排水付近に保護フィルムなど異物が残った状態で排水パツを取付されると漏洩の原因となります。

フィルム剥離 前



フィルム剥離後



光沢面

TRAY同梱パーツ詳細

T3 ハンドシャワーパイプ … 1



T4 タッピングネジ … 約 25
(予備込)



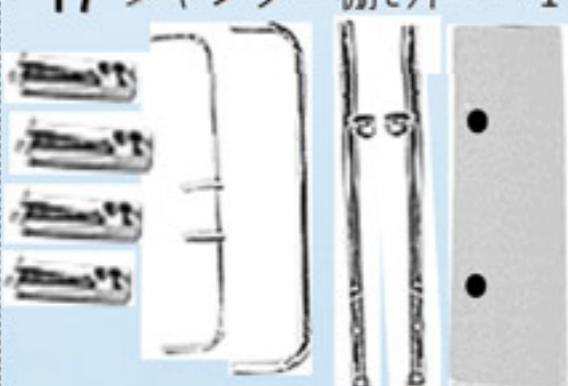
(用途: BACK・PANEL・天井 計20 + α)

T5 なべ頭ネジ+平ワッシャ
+ナット セット … 1



(用途: ハンドシャワーパイプ 上部取付用)

T7 シャンプー棚セット … 1



T8 ハンドシャワーHEAD… 1



T9 ハンドシャワーホース… 1



T10 タオル掛け… 1

(取付ネジ付)



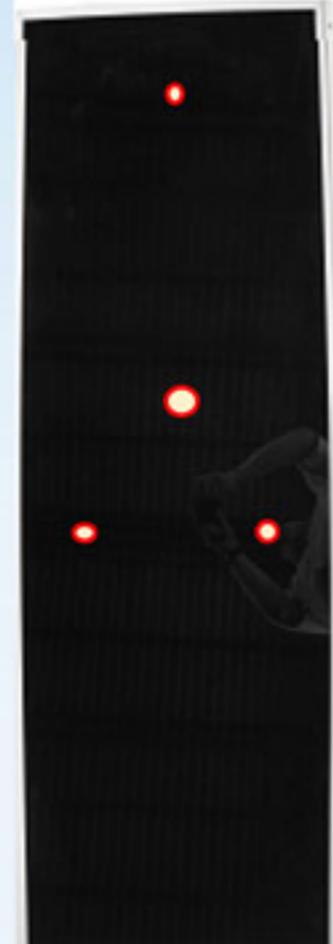
T11 扉ハンドル… 2



BACK



B1
左側BACK… 1



B2
右側BACK… 1



PANEL



上図は光沢面からです。シャワーブース内部側が光沢面となります。

製造時期・ロット変更など予告なく仕様変更等により説明・写真が異なる場合がございます。
ご不明点等ございましたらお客様窓口まで お問い合わせください。

1) TRAYの排水栓コーティング組立

【T1 : TRAY本体】排水防水対策

排水栓金具を一度取外し保護紙等除去してシリコンコーティングを所用箇所に塗布して組立をおこないます。

1) コーティング・排水栓取付工具を用意します。



シリコンコーティング

コーティングガン

締付工具（スパナ、パイプレンチ等）

2) TRAY バスタブ部より仮取付されている排水栓を一端外します。



3) TRAY・バスタブ部表面保護フィルムを剥がします。
取付穴のバリ・異物・突起などを除去します。



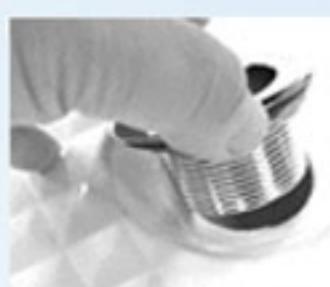
4) 排水栓リップ金属面に写真の様にコーティングを塗布します。



5) テープ付きパッキンを被せてパッキンの面にもコーティングを塗布します。



6) 排水栓を取付穴に取付します。



①コーティングを塗布します。



②平パッキンを被せます。

7) ナット締付。排水栓を固定します。



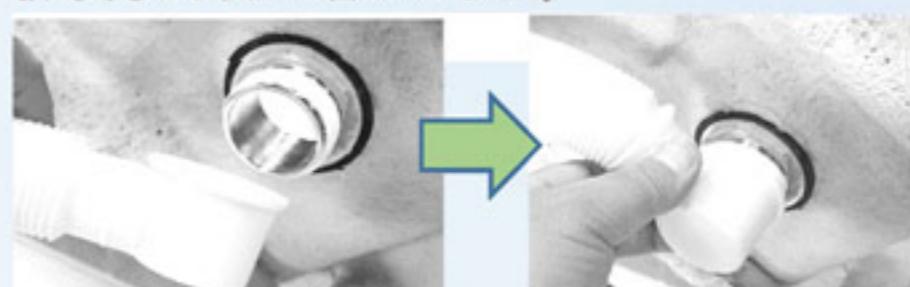
締付例：
パイプレンチで排水栓を回り止めをして スパナでナットを回して締付します。
パイプレンチは固定だけにしてください。ネジを痛めます。
※閉めすぎにご注意ください。
緩いと水漏れの原因となります。

8) 排水栓再取付けをして、シールテープを時計回りに約7~9周前後巻きます。



シールテープは、たるみの無いように均等にテンション掛けながら巻いてください。

9) 排水ホースをねじ込み取付けます。
ネジに対して斜めにならないよう気をつけて排水先の向きに合わせます。



※取付後の排水ホースは、極力 反時計方向に取付後の排水ホースは、回さない様にしてください。

シールテープの効きが弱まり漏洩の原因となります。ホース必要以上引っ張って伸ばして使用されると破損の原因になります。



取付け例

2) TRAY水平レベル調整

・水平器を用意します。



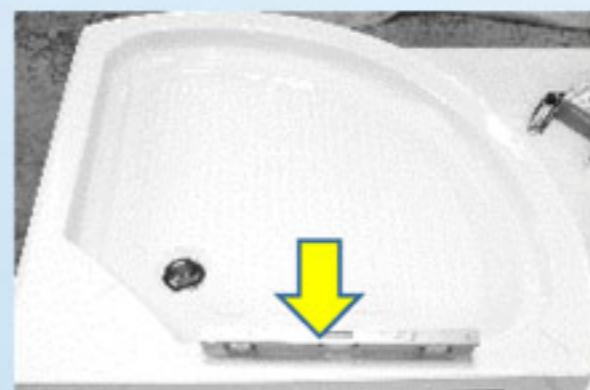
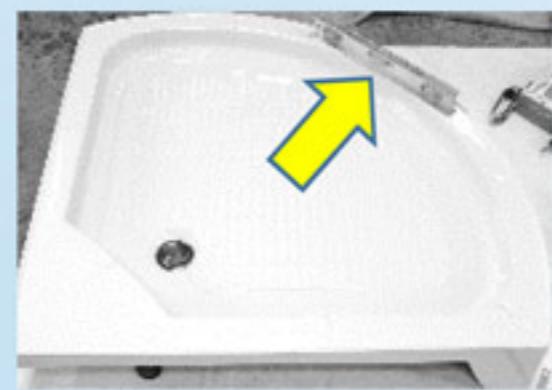
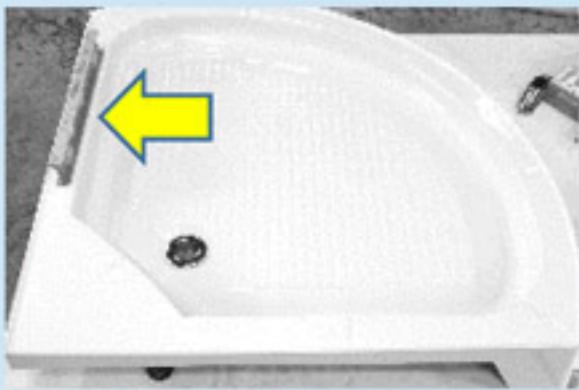
TRAYを実際設置場所に置いて傾斜・凸凹に対してアジャスター調整をします。

- 1) アジャスターをスカートから
目見当で約3~5mm程出るように調整します。



床面とスカートの間に
隙間ができるようにします。

- 2) TRAYを実際に設置する場所に置いて水平器で前後斜め等、水平確認しながら
アジャスターで水平調整をします。



中央など床面に接していないアジャスターも確実に床面に接するように調整します。

ガタツキ確認をして必要があればアジャスター再調整をして水平・ガタツキ無しに調整します。



TRAYの調整は、ここまでです。

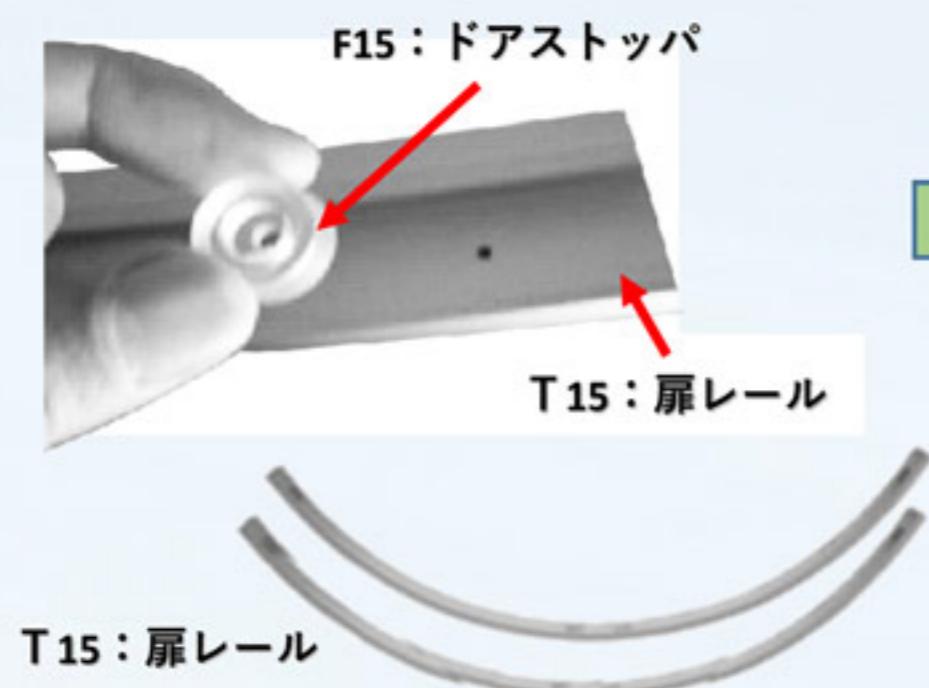
縫隙の組立は排水接続背面の組立用の場所に移動しない体をするスペースが
取れる所にTRAYを仮置きして組立が完成したらユニット全体を設置場所に

3) ガラスストッパー取付

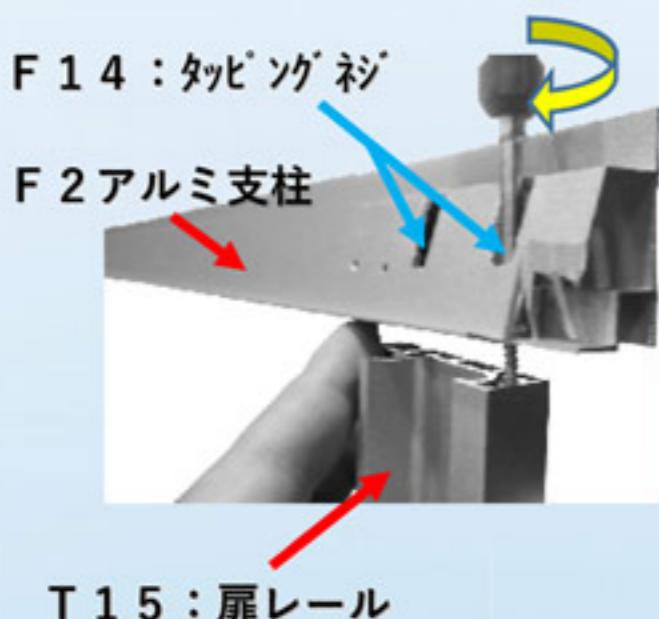
上下のドアレールにドアストッパー取付します。

【T15: 扉レール】2本を各溝面側4ヵ所の穴へ下図の様に

【F15: ドアストッパー】を【F13: ドアストッパーネジ (L = 8~11mm)】で取付をします。

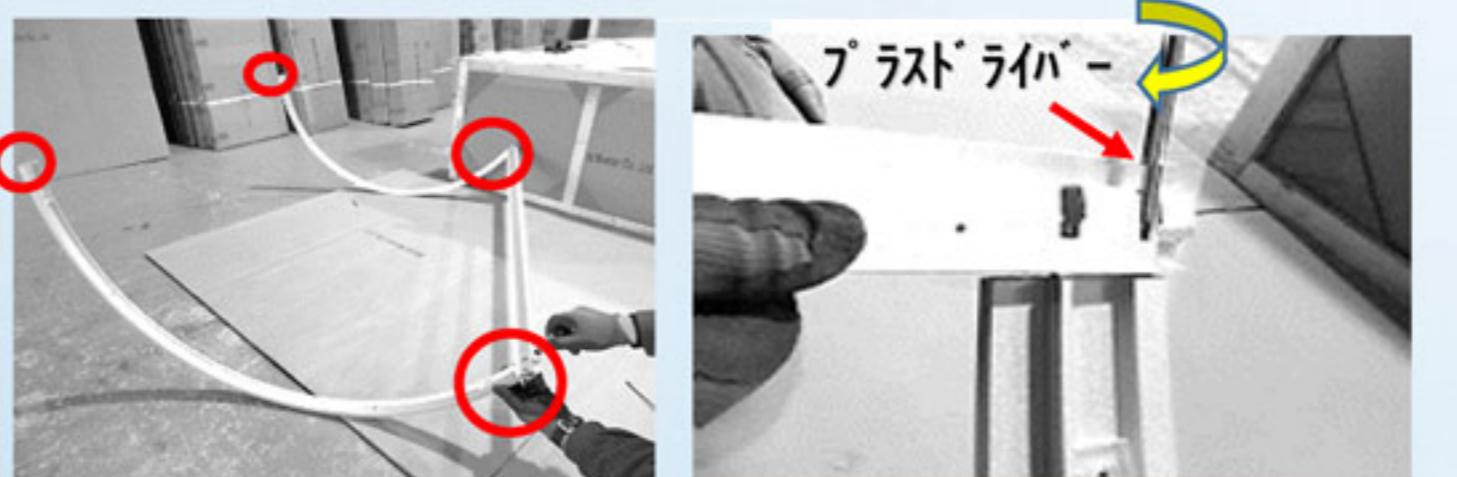


4) アルミ支柱と上下レールの組立



【T15：扉レール】と【F2：アルミ支柱】を

【F14：タッピングネジ（L= 15mm）】で1カ所2本ずつ
プラスドライバーで固定します。



上下扉レールの取付向き

上側



下側



5) アルミ枠のTRAY置き



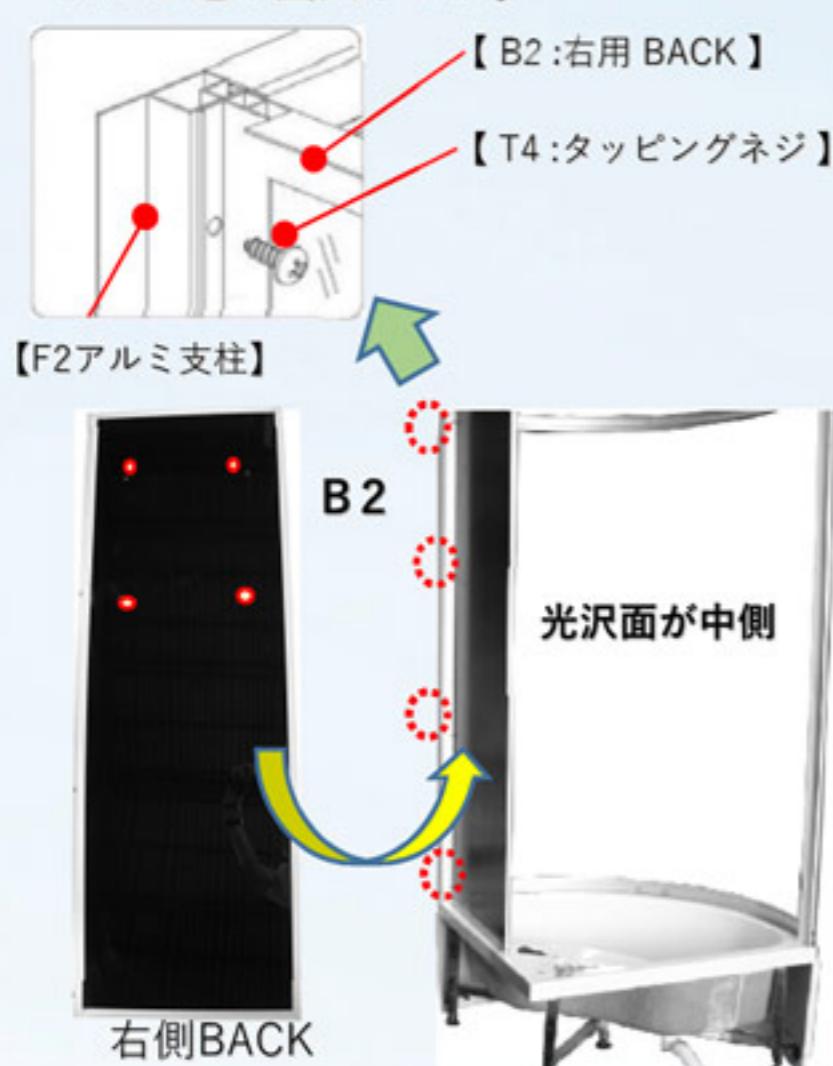
【T15：扉レール】と【F2：アルミ支柱】で
組み立てたアルミ枠を【T1：TRAY】に
上に載せます。

6) アルミ枠と右側BACK取付

【B2:右側BACK】光沢面をベース内にして
BACKの縦金属枠のL型部分と支柱を合わせます。

【B2:右側BACK】縦金属枠長穴から

【F2アルミ支柱】の丸穴に【T4：タッピングネジ】
をねじ込み固定します。

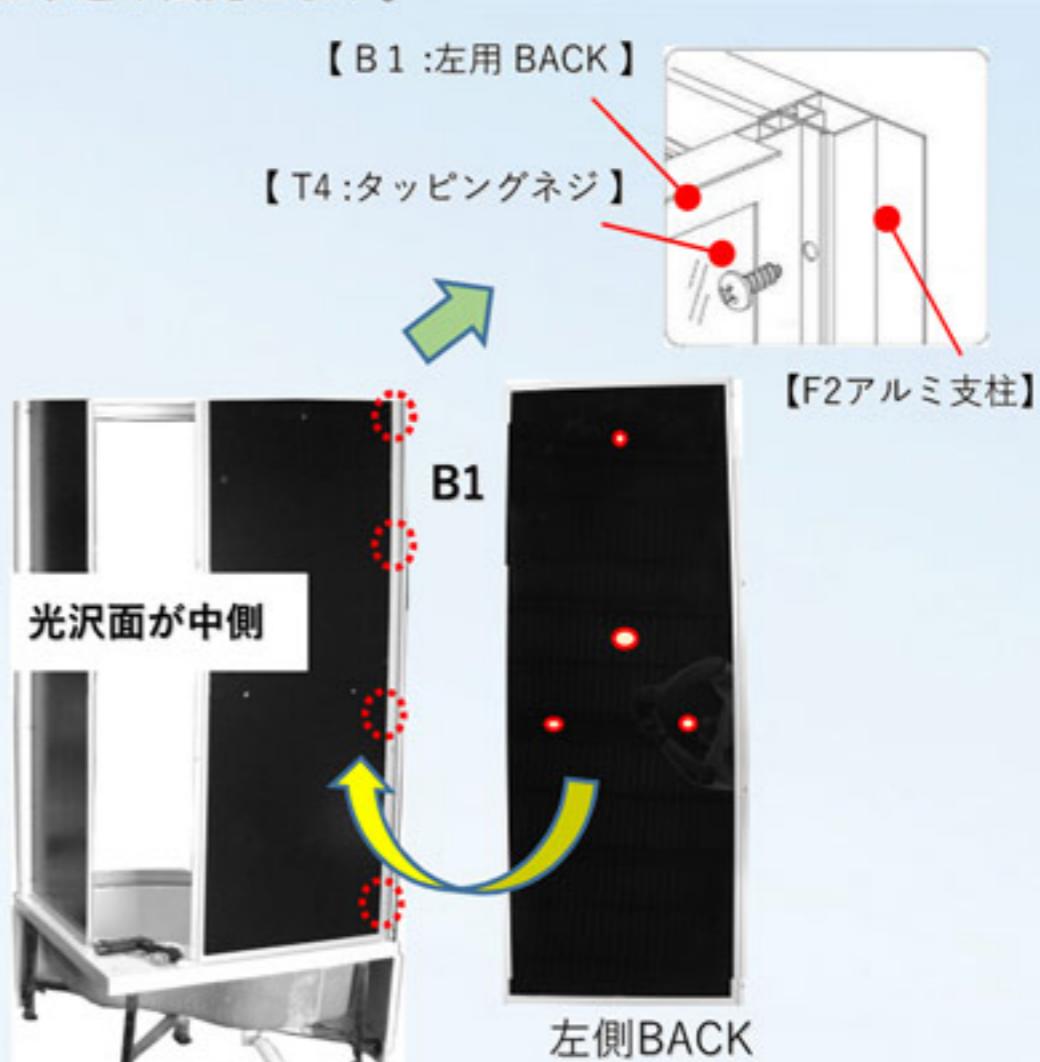


7) アルミ枠と左側BACK取付

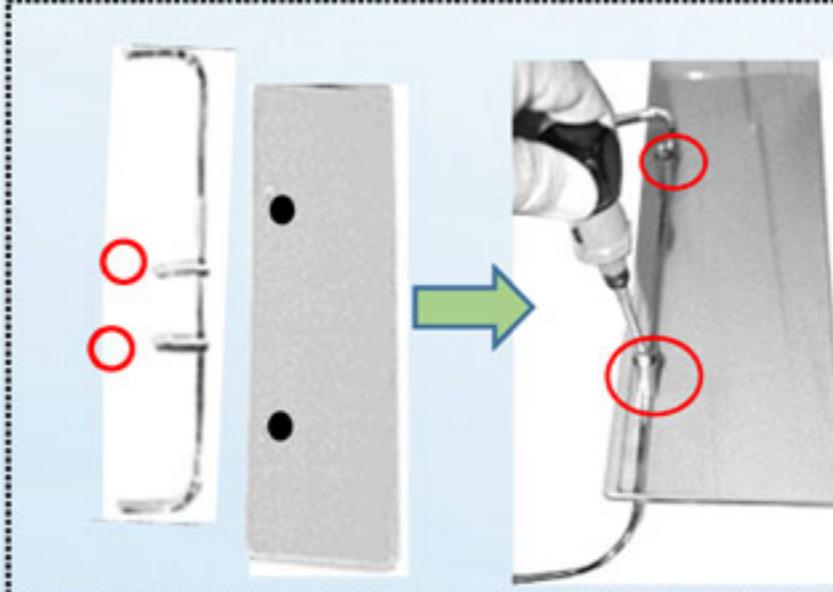
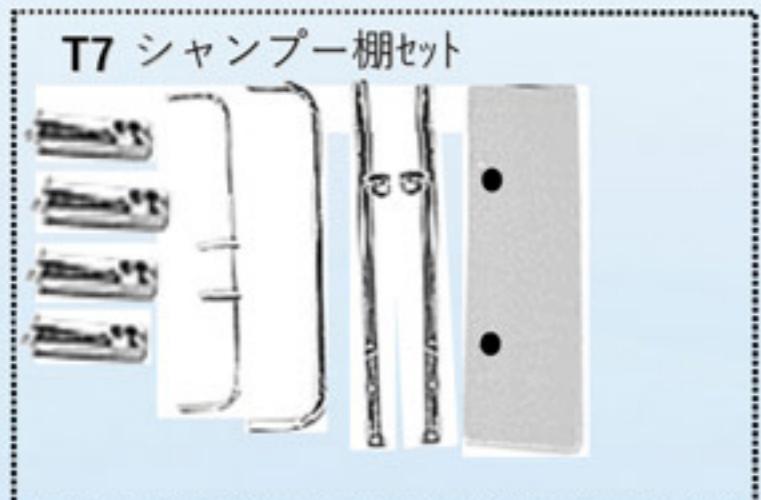
【B1:左側BACK】光沢面をベース内にして
BACKの縦金属枠のL型部分と支柱を合わせます。

【B1:左側BACK】縦金属枠長穴から

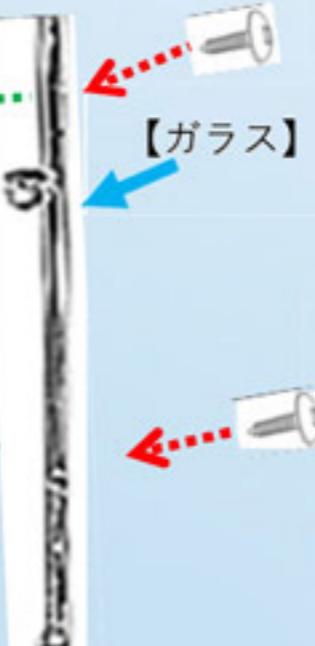
【F2アルミ支柱】の丸穴に【T4：タッピングネジ】を
ねじ込み固定します。



8) ガラス棚組立取付

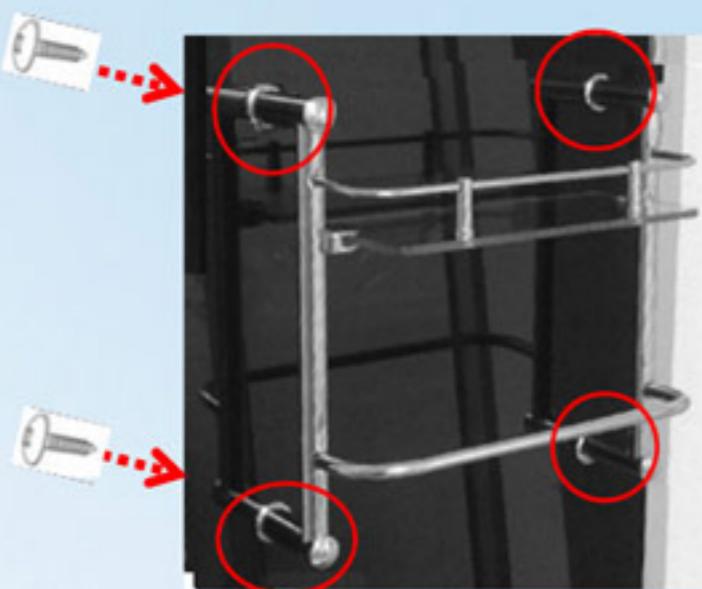


① 2本柱にガラス板を
ネジ取付します。



② 上の段は①でガラスを取り付けした棚が付きます。
縦の支柱上部の2個穴のうち大きい方の穴に
ガラスを付けたコの字横サポートを差込んで
小さい穴側からネジで取付します。

③ 下部2本の縦柱にコの字型タオル掛けを
取り付けます。
縦の支柱下部の2個穴のうち大きい穴に
タオル掛けを差込んで
小さい穴側からネジで取付します。



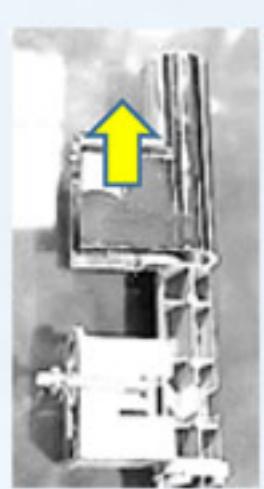
樹脂パッキンがガラスに接する様に
取付します。

④ 【B2】右側BACKガラス上部4カ所の穴に短い支柱取付します。
最初にBACKガラス下2カ所に短い支柱取付します。
BACKガラス背面からネジ止めします。

9) ハンドシャワーパイプ取付

左BACKの左側の上下取付け穴に取付けをします。

1) 【T 3 : ハンドシャワーパイプ】上部銀色カバーを上方向にずらして外します。
樹脂パーツの穴から【T 5 : なべ頭ネジ】を通して【B1:左側BACK】ブース内の上部の小穴に通して
【B1:左側BACK】背面側から【T 5 : 平ワッシャ + ナット】で取付します。上部カバーを被せてください。



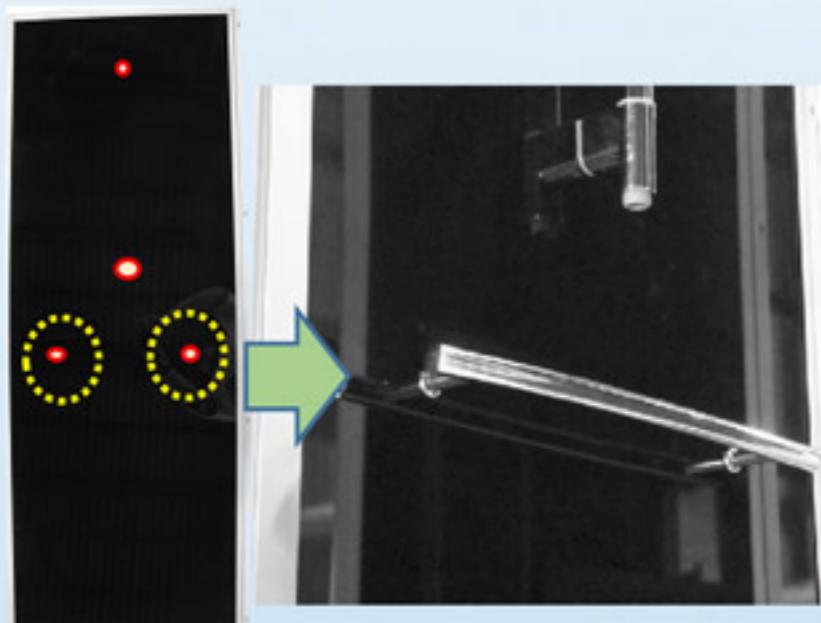
【B1:左側BACK】



② 【T 3 : ハンドシャワーパイプ】下部樹脂オスネジを
BACK背面から樹脂ナットで固定します。
下部樹脂オスネジはホース継手接続部となります。

10) タオル掛け 取付

【B1:左側BACK】



① 【T 10 : タオル掛け】 の付属ネジを外します。

② 【B1:左側BACK】 のタオル掛け取付穴背面から

付属ネジで【T 10 : タオル掛け】を

【B1:左側BACK】の光沢面側にを取付ます。

受け座は、タオル掛け支柱とBACKガラス面の間に挟みます。

【T 10 : タオル掛け】



(取付ネジ付)

11) ハンドシャワー 取付

取付前に樹脂継手のパッキンの当たり面にバリが
出ている場合にはヤスリ等で平らに除去して整えてください。
パッキンの当たり面にバリが残ると漏洩の原因となります。



① 【T 8 : ハンドシャワー ヘッド】の
オスネジ部に
【T 9 : ハンドシャワー ホース】
化粧ナット側を接続します。



② 【B1:左側BACK】に取付した
T 3 : ハンドシャワーパイプの
下部樹脂オスネジ部に
【T 9 : ハンドシャワー ホース】
六角ナット側を接続します。

樹脂ネジの為、工具締めトルクに注意。
過剰に締めますとねじ山が潰れます。

※ オスネジは樹脂製です。斜めにねじ込まない様にご注意ください。

12) PANEL 取付

【P1 : PANEL】横側の
ネジ込み取付用の小穴



背面より

PANEL ネジ込み取付用小穴

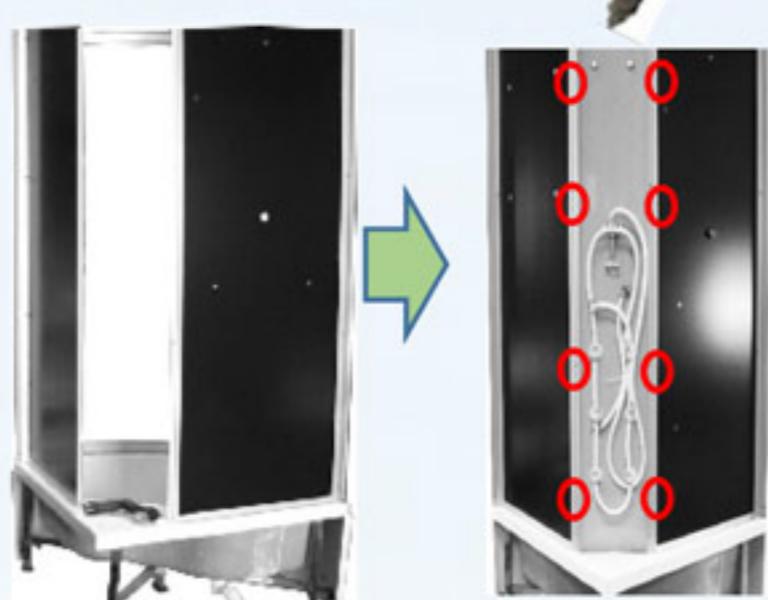
【B2 : 右側BACK】

【B1 : 左側BACK】

フレーム長穴

フレーム長穴

【T4:タッピングネジ】



左右BACKのフレーム長穴から

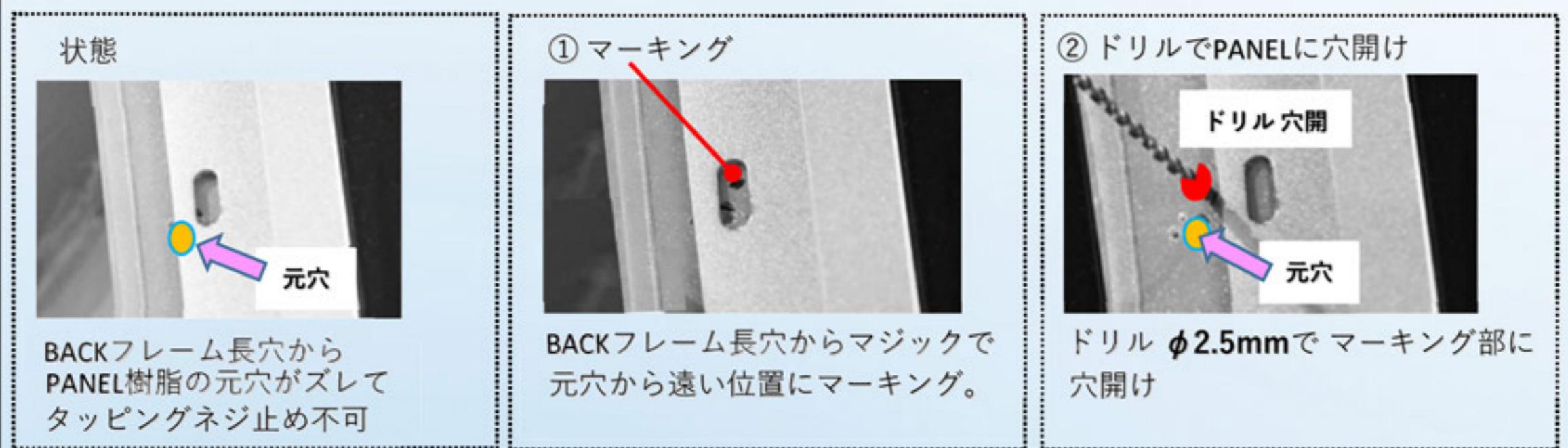
【P1 : PANEL】の小穴の位置を合わせて

【T4:タッピングネジ】でPANELを固定します。

BACK長穴とPANEL元穴にズレでネジが入らない場合には、
『BACKフレーム長穴とPANEL下穴の位置ずれ対応法』を
おこなって、ご対応ください。

BACKフレーム長穴とPANEL下穴の位置ずれ対応法

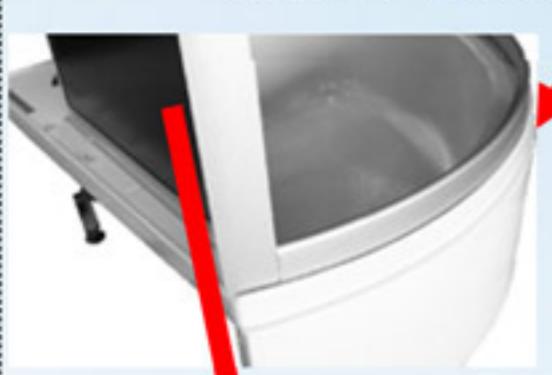
【P1:PANEL】の穴開け補修手順



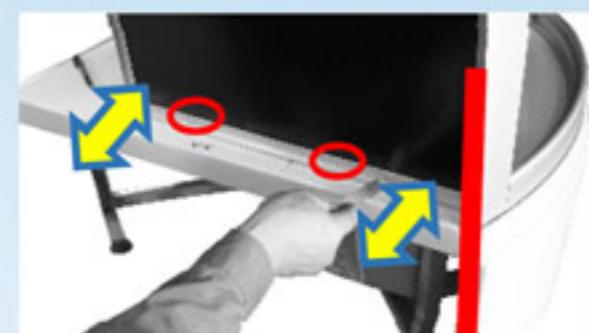
13) TRAYとBACKネジ止め

① TRAYと左右支柱の位置合わせ

段差の下に合わせます。

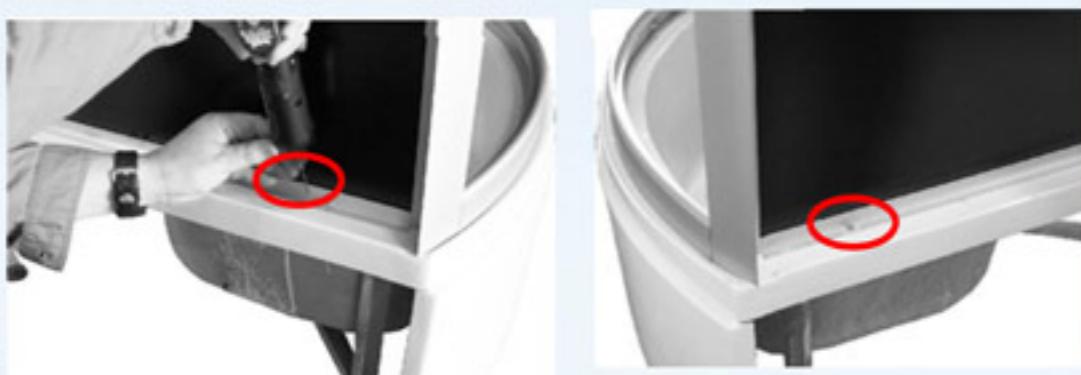


② TRAYとBACKの位置合わせ



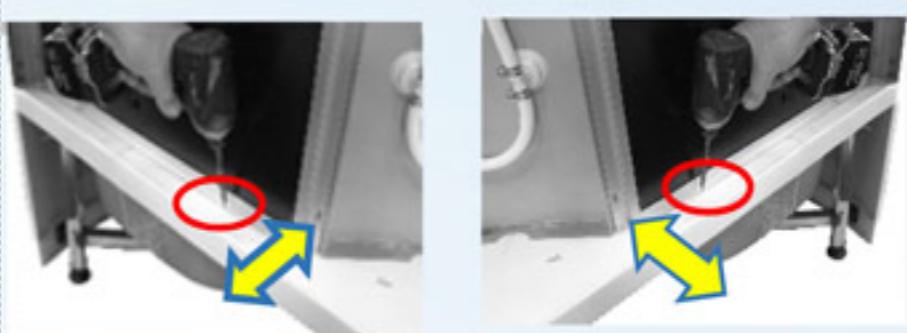
TRAY端辺とBACKフレームが平行となるように固定する左右BACKとも位置を寸法で確認調整します。位置決め後にマジックでBACKフレーム長穴に穴開け用の印を付けます。（BACK長穴2箇所×2 計4カ所）

③ TRAYマーキング穴開け・ネジ仮止め



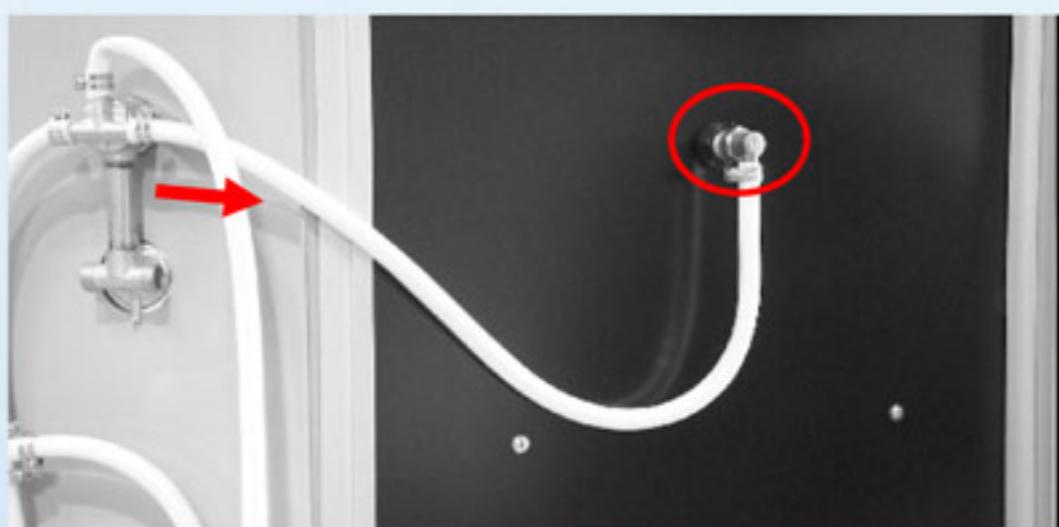
左右の支柱側の位置決め印にドリル $\phi 2.5\text{mm}$ で1カ所穴開けして【T4:タッピングネジ】で左右仮止めします。

④ TRAYへパネル側ネジ穴開け・固定



BACKの位置バランスを確認 & 微調整後、中央側残り2カ所の穴開けして、【T4:タッピングネジ】ネジ止めします。

14) ハンドシャワー取合い接続



樹脂ネジの締め付けトルクにご注意ください。

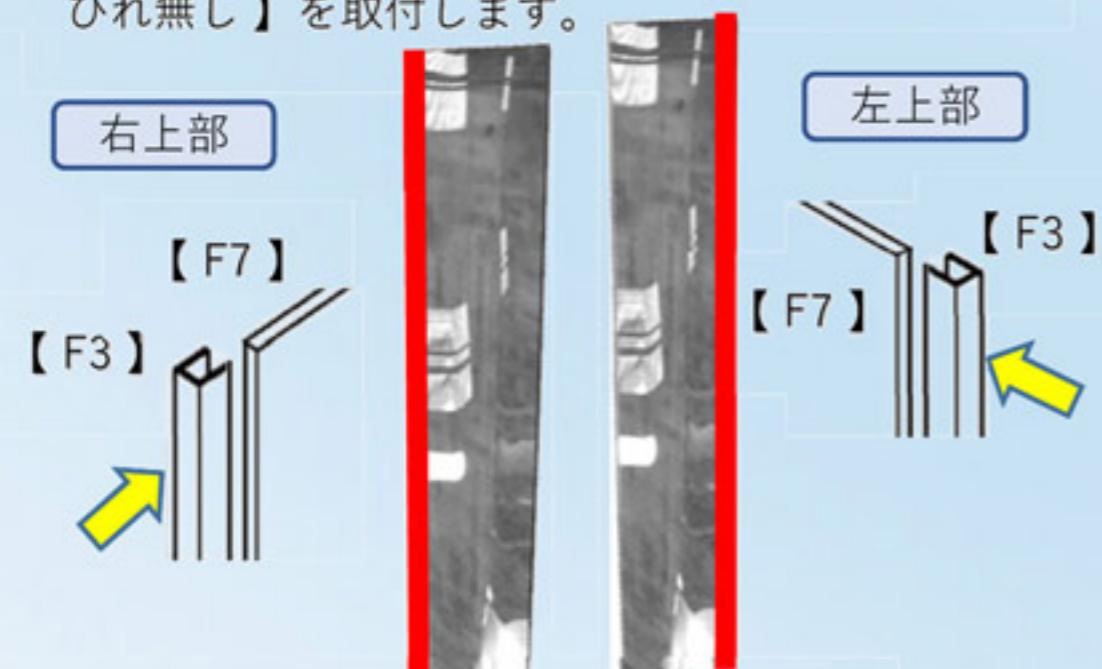
斜めねじ込み・過剰な締め付けはネジ山を破損してしまいます。

【P1: PANEL】背面の混合栓バルブの上部3方向継手の右側ホースを右ホースの先端を【B1:左側BACK】に取付した【T3:ハンドシャワーパイプ】のオスネジ取合い部に接続します。

※樹脂オスネジ取合い部先端にバリなど突起が出ていた場合には、ヤスリ等で平坦に整えてから、ホース継手を接続します。

15) フロント固定ガラス取付

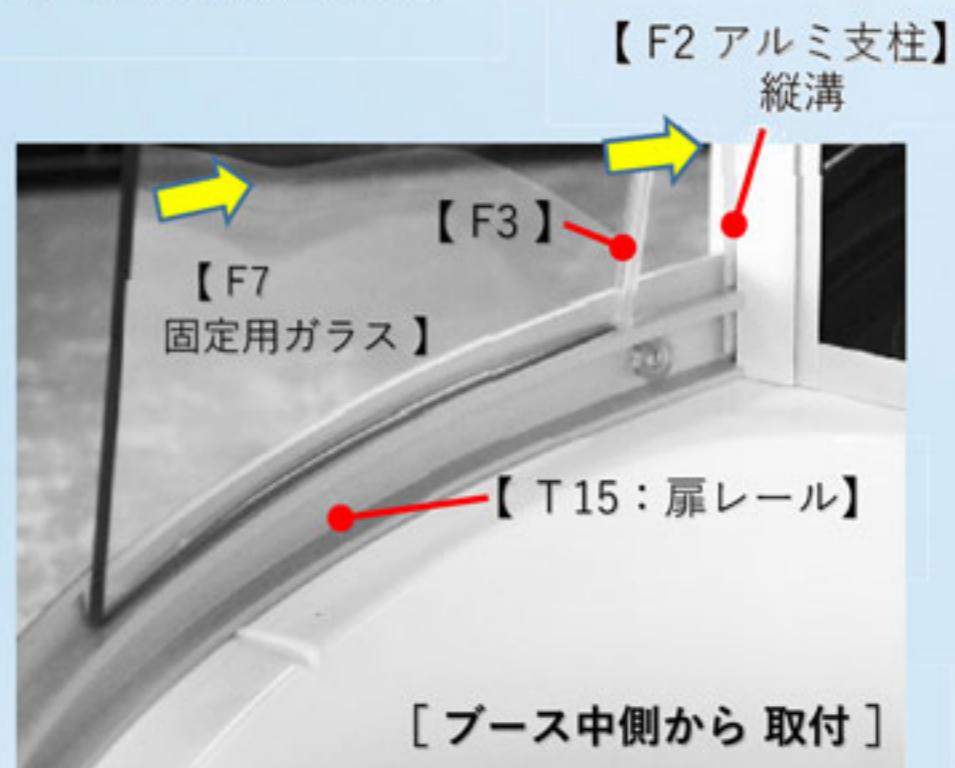
- ①【F7:固定ガラス】に【F3:ドア防水シールひれ無し】を取り付します。



【F7:固定用ガラス】は、穴無しです。

【F3:ドア防水シール】がガラスより長い場合
ガラスの長さに合わせて切断してください。

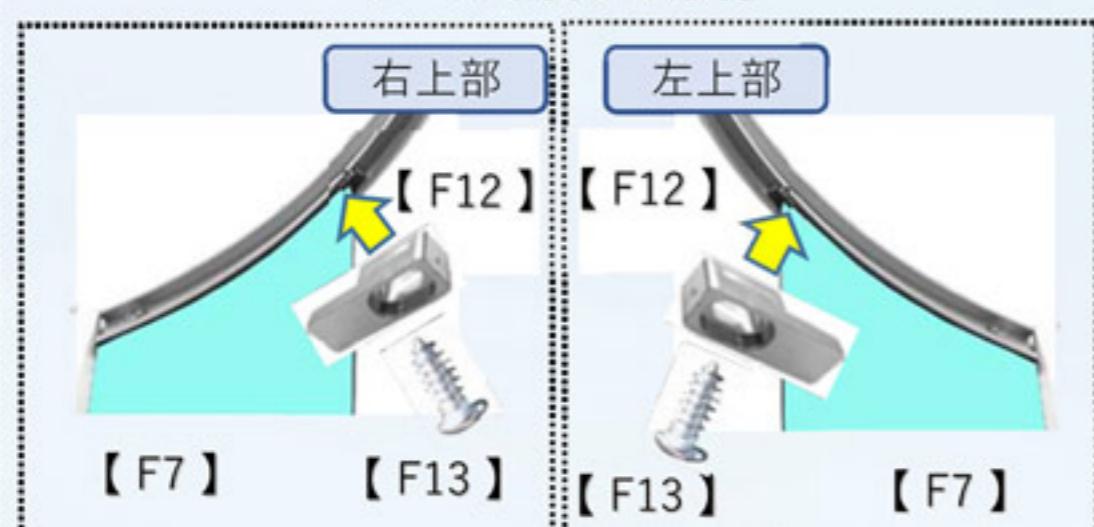
- ②ブース中側から【F7:固定ガラス】防水シール側を【F2:アルミ支柱】の縦溝に奥まで、はめ込みます。



[ブース中側から 取付]

- ③【F12:ガラスフォルダー】を【F13:タッピングナット】使用して固定ガラスの上・下をキリカキ部がガラス面に接するようブース中側から【T15:扉レール】下穴に取付します。

ブース中側から取付



【F12】: ガラスフォルダー

ガラス抑えキリカキ



ブース中側から取付



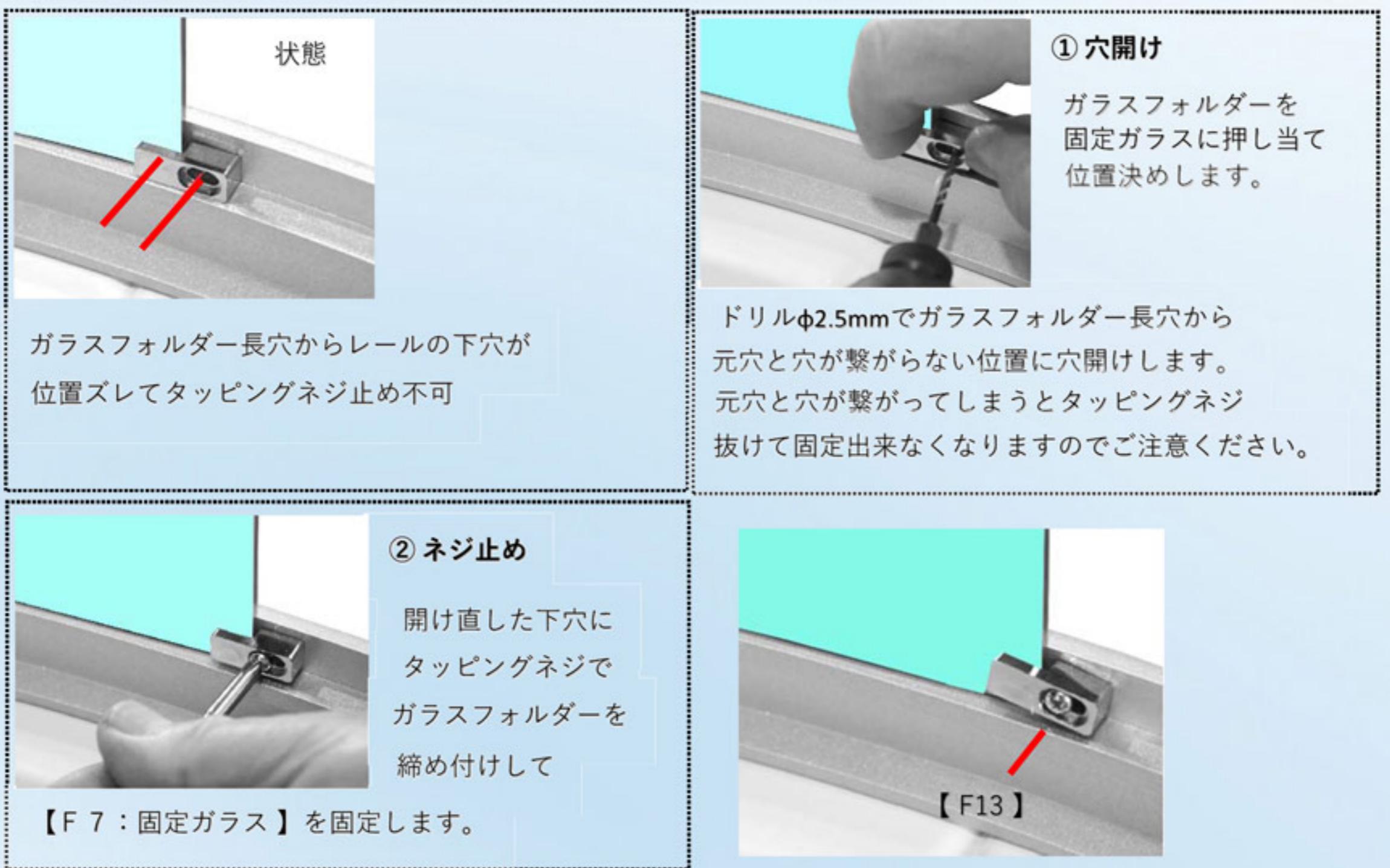
【F13:タッピングナット】



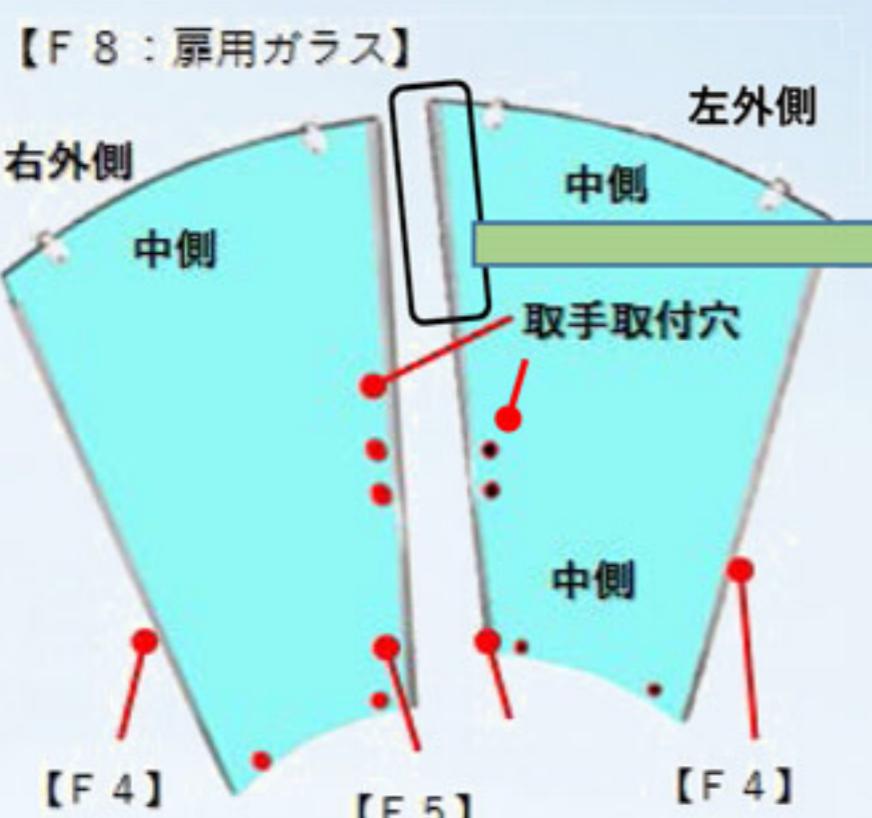
(【F12】: ガラスフォルダーと同袋内ネジ)

【T15：扉レール】下穴と【F12：ガラスフォルダー】の位置ずれ対応法

【F13：タッピングなべネジ】下穴ずれ固定出来ない場合の【T15：扉レール】下穴の穴開け補修手順

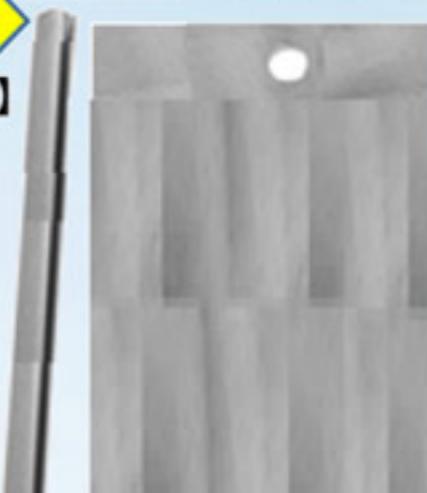


16) 扉用ガラスにパーツ取付



① F5：ガラスマグネットガイドの取付

左側【F8：扉用ガラス】



ガラスマグネットガイドを取り取付穴のある長手側の辺に左扉用ガラスの片端からデコボコにならないようにしっかり反対端まではめ込みをします。

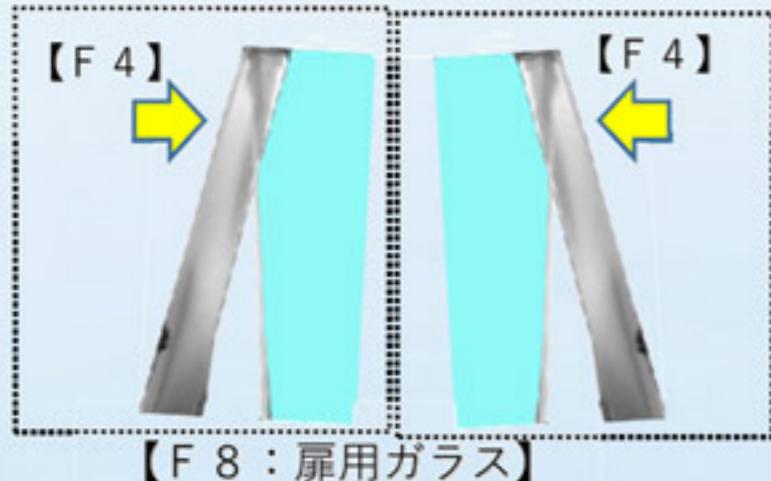
左扉用ガラスにガラスマグネットガイドを取り付前に、ガラスマグネットガイド単体を右側に取付したガラスマグネットガイドに合わせて磁力で付く上下向きを確認します。

組合せ状態は、ズレが発生したり引き寄せが弱い場合、片側のマグネットガイドを上下の向きを変えることで正常の組合せとなります。

確認後に右側と同様に左扉用ガラスにガラスマグネットガイドを取り取付穴のある辺にはめ込みをします。

② F 4 : ドア防水シールの取付

左右扉ガラスの取手穴の反対辺に【F 4 : ドア防水シール】をはめ込み取付けます。



ひれ部は、外側に
向けて取付けます。
扉縦長さより短いので
上下均等割で取付けます。

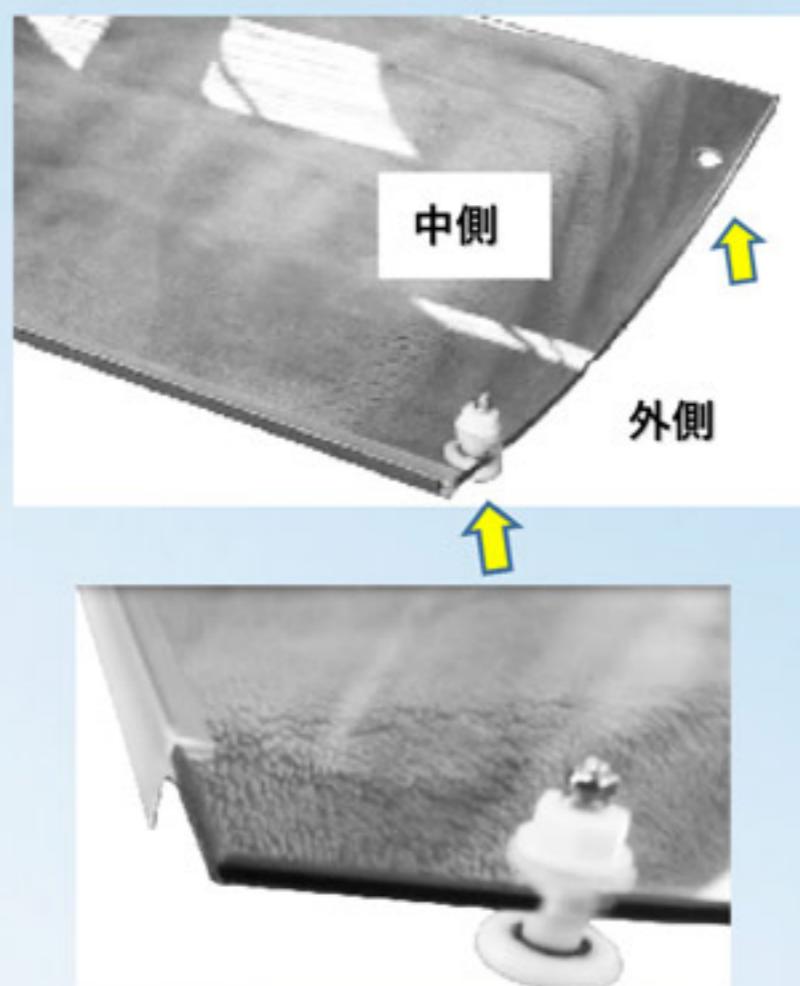


【F 8 : 扉用ガラス】

③ F 11 : 扉ローラーの取付



- 【F 11 : 扉ローラー】のキャップを引き抜き、内部の金属ナット・平ワッシャ・樹脂六角パーツを外します。



- 【F 11 : 扉ローラー】車輪側が扉外側になります。

扉中側で白色樹脂六角パーツ・スプリングワッシャ・ナットを取り付けます。

ナットの締め加減は手締め程度です。
後ほど調節します。

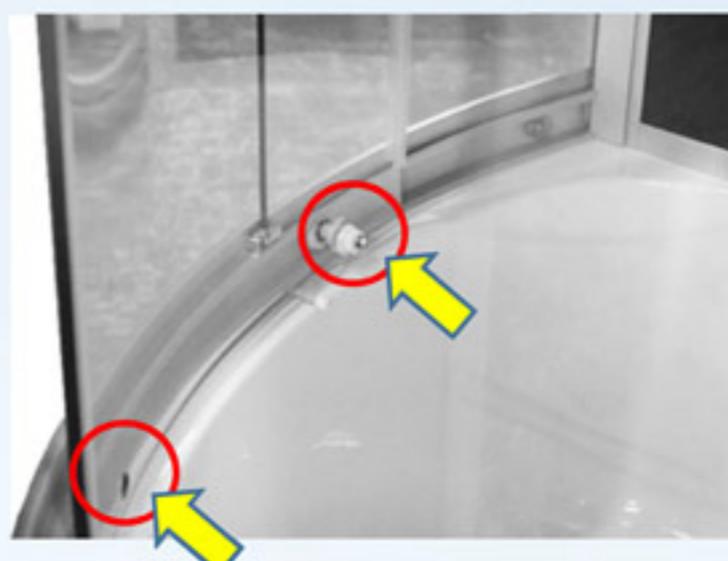
◆ 下側ローラーは、後ほど取付します。

17) 扉用ガラスをレールに取付

- 左側【F 8 : 扉用ガラス】上部の【F 11 : 扉ローラー】2個をシャワーブース上部の扉レール中側より溝にローラー車輪部を掛けます。



- 左側【F 8 : 扉用ガラス】下部のローラー取付穴に【F 11 : 扉ローラー】2個をシャワーブース上部の扉レール中側より溝にローラー車輪部を掛けて中側から白色樹脂ナット、スプリングワッシャ、ナットを取付します。



- 右側【F 8 : 扉用ガラス】も左側①②の手順で上下扉レールに取付します。

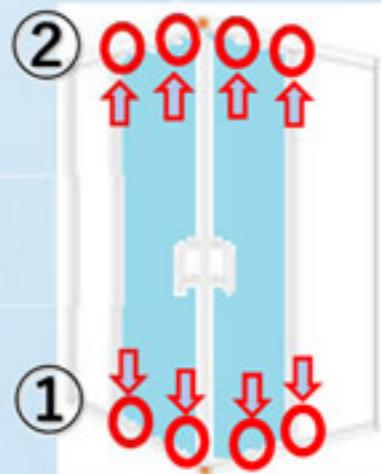
18) スライドガラス扉の角度調整

取付けした左右のスライド扉用ガラス扉を閉じた時に『F5：ガラスマグネットガイド』の隙間が無いように閉じる為のガラス扉の角度調節を行います。



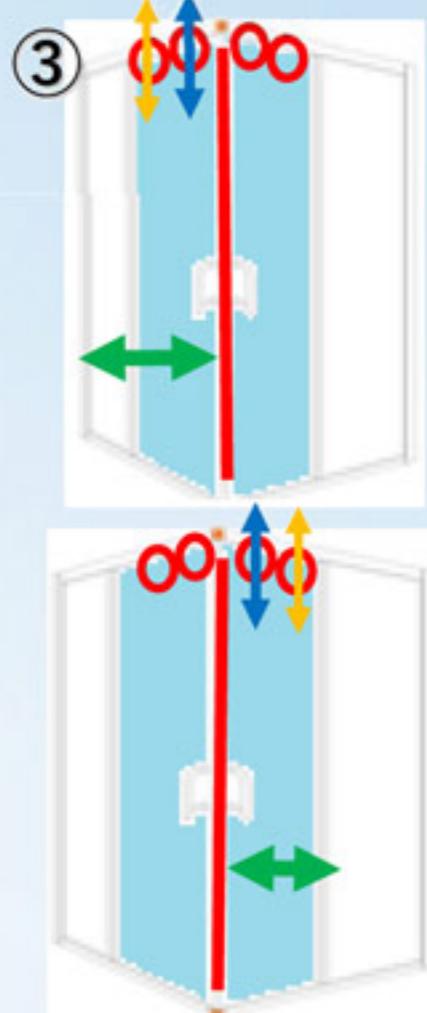
金属ナットが手締め程度で『F11：扉ローラー』の樹脂六角パーツが360度回転する間に、取付したガラス穴に対して『F11：扉ローラー』が上下に移動する事でガラス扉の傾き・高さの調節が出来ます。

◆『F11：ローラーAssy』の上下を最大幅にして、調節の準備をします。



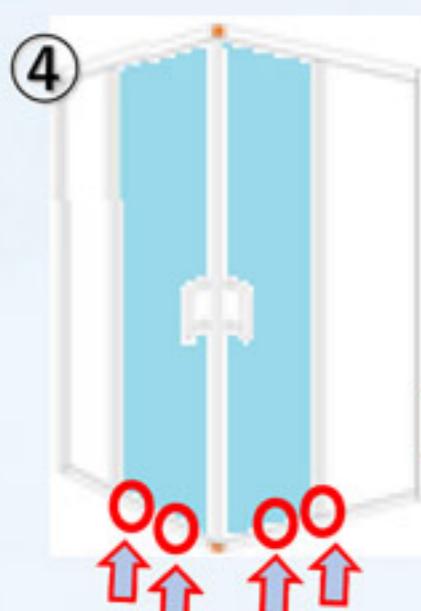
- ① 左右スライドガラス扉それぞれ下部の『F11：扉ローラー』の樹脂ナットを回し『F11：扉ローラー』の位置が最も下になるようにレールとローラーに調節用隙間を作ります。金属ナットは手締め程度。
- ② 左右スライドガラス扉それぞれ上部の『F11：扉ローラー』樹脂六角パーツを回して『F11：扉ローラー』の位置が最も上になるように仮止めします。

◆この状態でマガラス扉に隙間の有無を確認します。



- ③ この状態でガラス下側に隙間がある場合や上側に隙間がある場合には、各ガラス扉の2個の『F11：扉ローラー』樹脂六角パーツを回すことで片側を上方向、片側を下方向と調節でガラス扉の傾斜角度調整します。
もう1枚のガラス扉の2個の『F11：扉ローラー』樹脂六角パーツにて同様にガラス扉の傾斜角度の調節もおこなって、両方のガラス扉で均等に傾斜角度の調節をおこなって、左右ガラス扉を閉じた時に、

『F5：ガラスマグネットガイド』合わせ目に隙間が無くなるように調節します。
車輪の高さ調節をおこない、金属ナットで固定締め付けします。



- ④ 『F5：ガラスマグネットガイド』の隙間調節が出来ましたらガラス扉ごとの2個の下側『F11：扉ローラー』樹脂六角パーツを回して、下部の扉レールの溝の上側にローラー車輪が最上部分に接するように、車輪の高さ調節をおこない、金属ナットで固定締め付けします。

金属ナットで固定



●扉のガラスが上に持ち上がってもレールから脱落しない取付構造になっています。

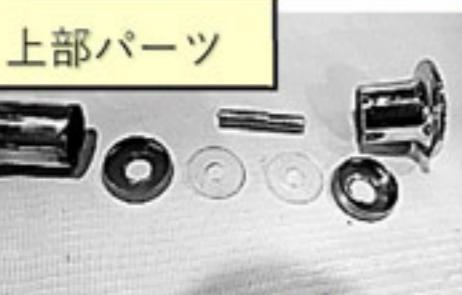
⑤ 樹脂キャップをはめ込み取付します。



19) 左右扉ガラスの取手の取付け

①『T11：扉ハンドル』を『F 8：扉用ガラス』に取り付けます。

上部・下部とも樹脂ネジ部品を緩めて、外します。

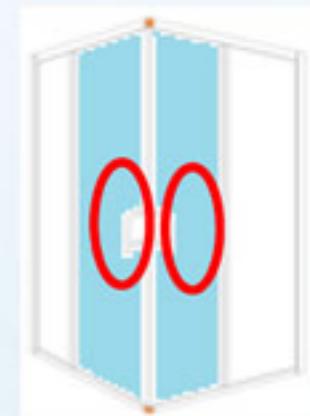


取手 軟質樹脂ワッシャ
銀色ワッシャ

②上・下の長ネジは、ネジ半分ほどを取手にねじ込みます。

③上・下に取手が差し込めるくぼみの有る

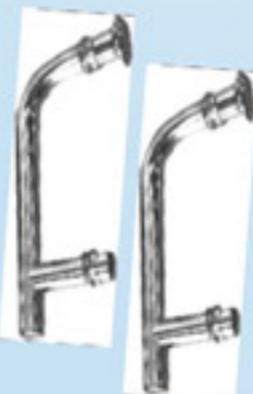
銀色ワッシャとガラスに接する面に軟質樹脂ワッシャをガラス穴にはめます。



外側



軟質樹脂ワッシャ



【CODE: 65000455】

20) 天井シャワーノズル取付

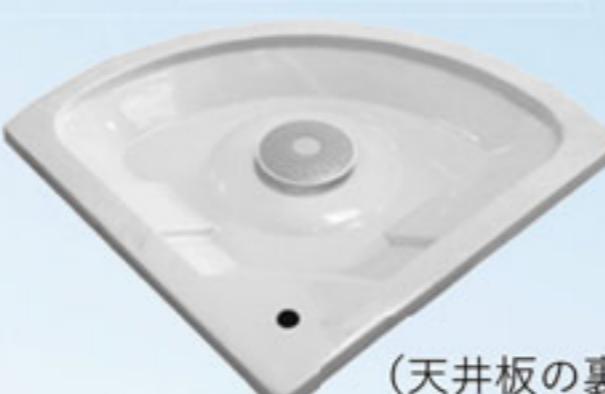
①【T 2：天井板】の表面保護フィルムを剥がします。

②天井シャワーノズルを付属の樹脂ナットで

【T 2：天井板】に取付します。



天井裏面側



ブース中面側

(天井板の裏表を間違えのないようにご確認ください)

※天井シャワーオスネジは、ホース接続部と兼用となっています。

オスネジ先端平面部（パッキン接触面）にバリなど突起が有る場合、

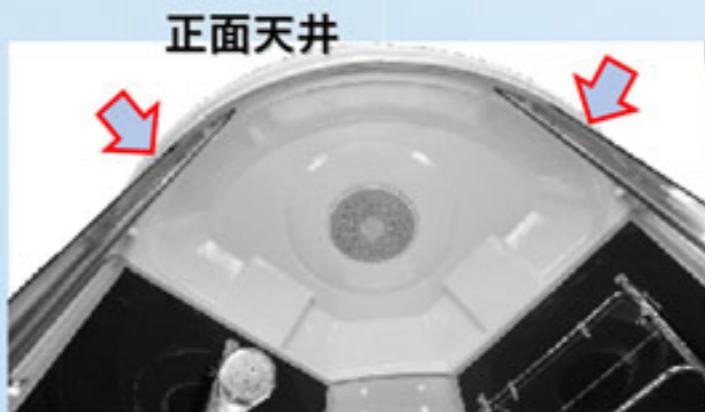
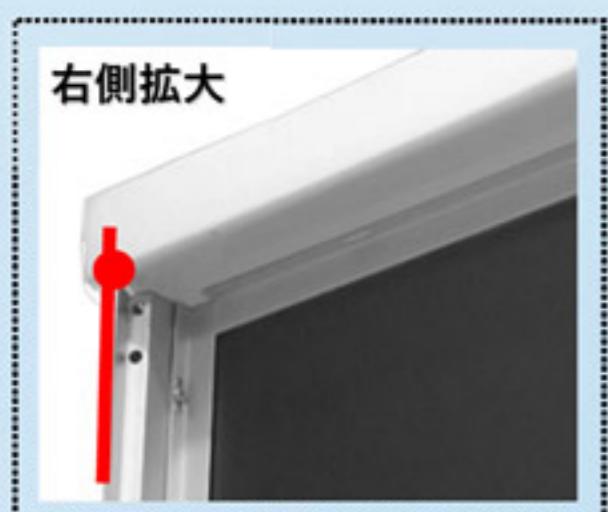
ヤスリ等で平面に整えてバリを除去してください。

21) 天井板 取付位置決め

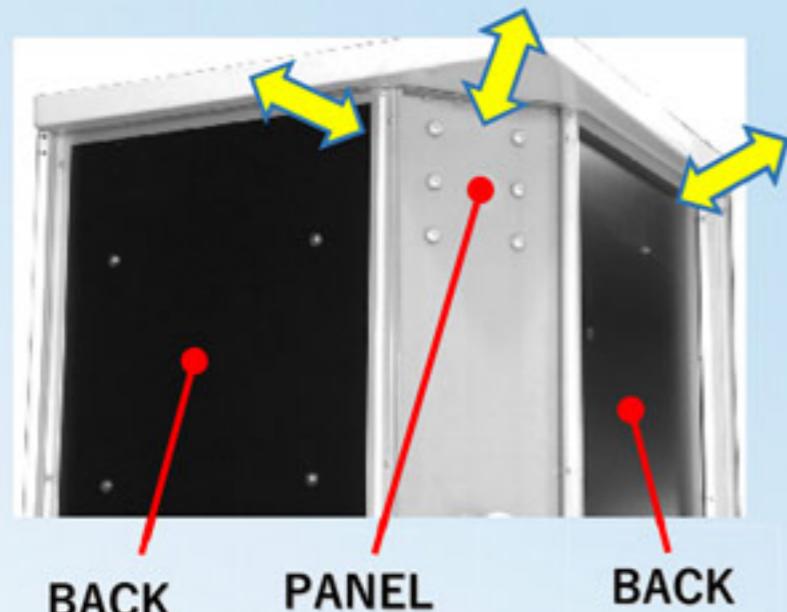
①シャワーブースの上に天井板を置きます。



②天井とアルミ支柱の通りの位置を合わせます。 (左・右)



③正面側扉レールと均等に天井突起が出るようにバランスの確認もおこないます。



④天井に対して各位置、BACKフレームに対してBACKフレームに対して平行な寸法がとれないときには
BACK・PANELを動かして天井に対して位置調整をします。

天井辺とBACKフレームが平行となるように左右BACKとも位置を寸法で確認調整します。

22) 天井とBACKネジ止め



①位置決め後にマジックでBACKフレーム長穴に穴開け用の印を付けます。

(BACK長穴 2箇所 × 2 計 4カ所)

②左右の支柱側の位置決め印にドリルΦ2.5mmで1カ所穴開けして【T4:タッピングネジ】で左右仮止めします。



③BACKの位置バランスを確認 & 微調整後、中央側残り2カ所の穴開けして、【T4:タッピングネジ】ネジ止めします。



23) 天井シャワー ホース接続



① PANEL背面側の混合栓上部3方向継手の**上側ホース**を天井コーナーの丸穴を通して、天井シャワーのオスネジに、ホース継手を接続します。

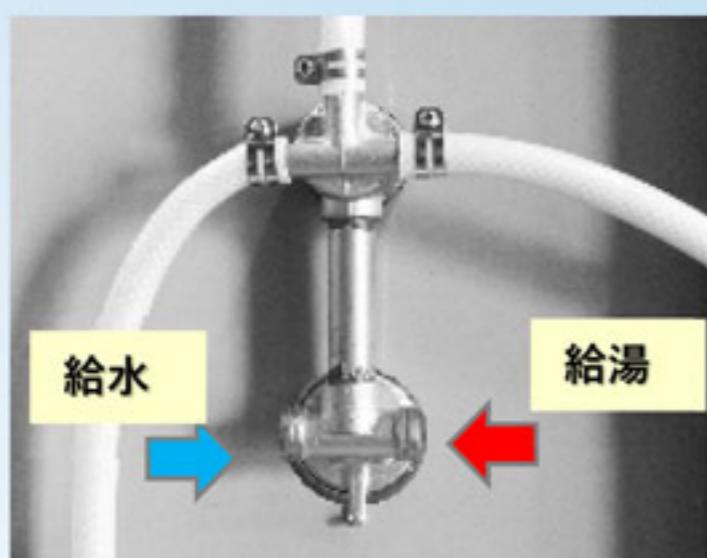


樹脂ネジの締め付けトルクにご注意ください。
斜めねじ込み・過剰な締め付けはネジ山を破損してしまいます。

組立は、以上です。

配管設置参考

混合栓 給湯・給水 接続



混合栓 給湯・給水接続 ネジ口径

PJ 1/2 (オスネジ)

通水テスト動作確認

◆ ご使用前に必ず通水テストを実施してください ◆

テスト前に下側のシングルレバーバルブのレバー部分を奥に倒れた状態（湯水閉止）にして、上側ロータリー式切換バルブのつまみをハンドシャワー側に切り替えて置きます。



①下側のシングル切換レバーバルブを手前に引き上げますと閉止の状態から湯水がシャワーより吐出されます。レバーの手前～奥側調節で湯水の流量が調節出来ます。下側のシングル切換レバーバルブを左右に回しますと冷水～温水の調整が出来ます。

②上側ロータリー式切換バルブのつまみを左右回転で、ハンドシャワー・天井TOPシャワー・背面ボディーシャワーに選択してシャワーより吐出できます。

通水時に組立接続頂きました各ホース接続部の漏洩確認をしてください。

増し締め・手直しが必要な場合、バルブは閉止状態でおこなってください。

お疲れ様でした。